

羅針盤

令和3年度 第6号 (通算332号)
令和3年9月15日 (水) 発行
岡山県総合教育センター 企画部
Tel (0866)56-9102 Fax (0866)56-9122

ハイフレックス型授業[※]の参考にしてください

令和3年7月21日から、県総合教育センターで行うすべての研修講座を対象に、集合研修を来所して受講するか、その研修の配信を学校で遠隔受講するかを選択できるハイフレックス型研修を導入しました。遠隔研修で参加した場合も、協議や演習等の活動に参加でき、集合研修で参加した場合と同等の研修を受けることができるよう、日々遠隔研修技術の向上に努めています。

今回は、今までのハイフレックス型研修で培ったノウハウのうち、機材の準備・配信のポイントを紹介します。各校でもICT機器を使った様々な取組を行っていると思いますが、授業配信の参考にしてください。

今、校内にあるICT機器で、できるところから始めましょう。

※対面とオンラインのどちらでも受けることができる授業形式を指します。

研修室の基本レイアウト



使用機材・システム

【機材】

- ① プロジェクタ
- ② スクリーン (ホワイトボード)
- ③ 講師用PC
- ④ 配信用PC
- ⑤ Webカメラ (or デジタルビデオカメラ) ・三脚
- ⑥ スピーカーマイク (or ヘッドセット)

【ケーブル類】

USB延長ケーブル
HDMIケーブル
映像変換アダプタ など

【Web会議システム】

Zoom、Google Meet など

配信のポイント

- 【映像】 ・PC内蔵カメラでも配信できますが、USB延長ケーブルに接続したWebカメラを三脚に取り付けると、カメラ配置の自由度が増します。
- ・デジタルビデオカメラはズーム機能を利用することができます。(映像変換アダプタが必要)
 - ・三脚にタブレット端末を取り付けて配信することもできます。
 - ・実物投影機をWebカメラとして接続すると、教科書やワークシートを直接映して配信することができます。
- 【音声】 ・音声配信にWebカメラやPCの内蔵マイクも利用できますが、部屋の大きさに適したスピーカーマイクを別に準備すると音声がきれいに届きます。
- ・スピーカーマイクを置く位置で音声が差が出ます。よく聞こえる位置を探してみてください。
 - ・ハウリング対策が必要です。(室内で複数の端末を使う際は、メインの端末以外のマイクをミュートにしておく。)
- 【その他】 ・Web会議システムのチャット機能を活用する。(質問や音声トラブルの際に文字でやり取りできる。)
- ・配信をサポートする人員の配置が望ましい。

参考

・やむを得ず学校に登校できない児童生徒へのICTを活用した学習指導等を行うためのチェックリスト (文部科学省)

https://www.mext.go.jp/content/20210827-mxt_jogai02-000017631_00002.pdf

・「教育の情報化ユニット研修」<unit 20 実践遠隔授業(授業づくりと模擬授業)>

<https://www.youtube.com/watch?v=E-t-Hgjnqjs>

